

## カチコチ組織を動かすカギは、責任あるリーダーの謝罪です！



## 前川進介 経歴

- ▶ 1978年生まれ 46歳  
小川小学校→山南中学校→柏原高校→神戸大学農学部  
大学を卒業後、株式会社ファンゲルに入社。
- ▶ 2009年に丹波市にUターンし、株式会社みんなの村を経営。  
会社を運営する傍ら、1ターン専用シェアハウスを立ち上げ都市部からの移住者を招き入れるなど、地域活性化にも関わる。
- ▶ 2020年11月の丹波市議会議員選挙に出馬し、全体3位で当選。「こどもの権利に関する理念条例調査研究特別委員会」委員長として、条例制定を牽引。また障がい者や女性など、「社会的弱者」と言われる人たちが暮らしやすくなる地域社会の実現に注力してきた。

## 後援会会長からメッセージ

後援会長の足立龍男(フォレスト・ドア代表)です。前川氏は商工会の後輩で、30代の頃から自分の考えや正義感を持って突き進む経営者でした。ちょっと我が強い面もありましたが、歳を重ねるにつれて人の話を受け止めるようになり、今では突破力も傾聴力もある、バランスの取れた人間に成長したと感じています。今の丹波市を変えられるとしたら前川氏しかないと思い、私は前川氏を応援しています。



ご意見ご感想などございましたら  
下記連絡先までご連絡ください

〒669-3146 丹波市山南町南中115番地4  
080-3087-4720 前川進介 宛  
maegawa.shinsuke.3@gmail.com

後援会  
LINEグループ



政策について  
動画にて詳しく  
解説をしています

若い力で、  
丹波市を変える！

まえがわ  
しんすけ  
前川進介  
46歳

- 1 若者、特に若い女性に移住したくなる過疎対策
- 2 地域経済の足場を固める「地産地消」
- 3 経済効果ももたらず情報と防災
- 4 一人ひとりの思いが尊重される福祉
- 5 民間目線の開かれた行政・議会改革

# 丁寧な対話で 一人ひとりが納得して 生きられる丹波市に

丹波市役所の既成概念に囚われることなく、市民との対話を基軸にオープンな市政運営を行い、市民が潤う持続可能な地域経済循環を強化して、市民一人ひとりが納得のいくサービスを選択できる体制を構築します。

① **オーガニック給食の無償化** で子育て支援



⑤ **廃校を活用した陸上養殖** で地産地消を強化して税収確保



⑥ **スムーズに情報を得られる丹波市版SNSアプリ開発**



⑦ **高齢者福祉と教育を両立させる学校給食の地域への開放**



⑧ **障がい者の移動を応援するタクシーチケット制** の導入



⑨ **議会動画の編集・拡散** で開かれた議会后押し  
(参考:安芸高田市)



⑩ **市長ボーナスの議会査定による歩合制** で開かれた市政を実現



② **有機米の全量買取** による有機圃場面積の拡大

③ **女性議会の設置** で女性の意見を社会に反映



④ **シングルマザー移住促進** で速効性のある過疎対策

